

ねつ たか からだ つめ 熱が高い・身体が冷たい

たいおん いじょう い か じょうたい
体温が 38℃以上または 35℃以下の状態

かんさつ 観察のポイント

- ねつ たか びょうき じゅうしやうど そうかん
・ 熱の高さと病気の重症度は関連しないこともあります
- ぐったりして元気がない、顔色が悪いなどの時は、全身状態を観察しましょう (⇒ p.11 参照)
- はつねつ のう あた
・ 発熱だけで、脳にダメージを与えるわけではありません
- い か ていたいおん きんきゆうせい たか
・ 35℃以下は低体温で、むしろ緊急性が高いことがあります

ただちに、救急車を要請

- いしき
✓ 意識がなく、けいれんしているとき
- ねつ たか きゅうきゅうほんそう はんだん ひつよう
熱の高さのみで救急搬送を判断する必要はありません

すぐに受診 (3時間以内)

- すいぶん と はん にち て
✓ 水分が摂れず、半日おしっこが出ない
- おうと げり く かま
✓ 嘔吐や下痢を繰り返している
- ぐったりしている、ぼーっとしていて反応が悪い
- きげん わるく あやしても わらわらない
- せいご げつみ まん
✓ 生後3か月未満である



きょうじゅう じゅしん じかんいなし
今日中に受診（6時間以内）

- ✓ よく眠る
- ✓ 41℃以上の発熱が続いている

よくじつ じゅしん じかんいなし
翌日に受診（12～24時間以内）

- ✓ 水分（ミルクや母乳）が摂れて、おしっこも出ている
- ✓ 機嫌が悪くなく、あやすと笑ったり遊んだりできる



せんもんい せんもんいからのワンポイント・アドバイス

か 家庭でのケアのポイント

- ・ 体温はあくまでも目安であり、体温計の数字のみにこだわらないようにしてください
- ・ 3か月未満の発熱は、3時間を待たずに早めに受診しましょう
- ・ 高熱であっても元気な時は解熱剤を使用しなくていいです
- ・ 発熱時は体温を1日2～3回ほど測定しましょう
- ・ しっかりと水分を摂るようにしましょう
- ・ 発熱時は、環境（衣服・室温）で温度調整をしましょう

い 医師に伝えてほしいこと

- ・ 園や学校などでの感染症の流行状況
- ・ 経口摂取の状況（普段どおり食べたり飲んだりできるか）
- ・ 体温の推移（記録しておく伝えてやすいです）